

笑ってごらん

第540号 H.28.2.9 発行

～今日のことば～

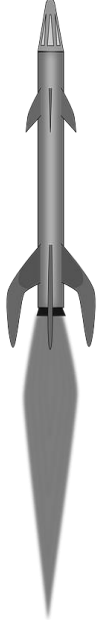
モチベーション = 希望 × やり方



◇◆有名人が仕事を失ったり、逮捕されたり、隣国で大地震災害が起きたり、ミサイルが発射されたり…。何だか不穏なニュースばかりが飛び交っている昨今。外野の一人として勝手なことをワーワー言っている分には影響は少ないのだが、それが SNS への書き込みとなると、途端「力」を持つようになってくる。日頃何気なく使用している SNS も使い次第では脅威となり得る。果たして、思ったこと・感じたことを安易にそのまま文字にしまっていいのか…？

◇◆ワープロを使っていると様々な記号に遭遇する。例えば「!？」・「“”」・「～」・「^」など。使用頻度に差はあるものの、いったいこれらの名前は何か？ 最初の「!？」などは比較的によく使う「ビックリマーク」と「ハテナマーク」が組み合わさったものなのだが、これら2つを並べて使うと特殊な読み方になるらしい。驚いたときに「ええ！ 本当？」という感じに使うことが多いと思うが、この記号、実は「ダブルダレ」と呼ばれている。「!？」を2つに分解してみると「!」・「?」になる。「!」はビックリマーク、エクスクラメーション、感嘆符とも言うが、実は「アマダレ」とも呼ばれている。では「?」はどうかというと、ハテナマーク、クエスチョンマーク、疑問符が普段使っている呼び名だが、こちらは「ミミダレ」。なので、この2つに共通している「ダレ」に着目すると「ダブルダレ」いうことになるのだそうだ。ちなみに特殊なカッコのように使われる「””」は「ダブルクォーテーション」、「～」はチルダ、「^」は「アクセントコンプレックス」というのだ。「あ、そこ、会話だからダブルクォーテーションで括って。次の言葉は強調したいからダブルダレね」…まあ、こんな感じか…。原稿の校正等を生業としている人でないと名前までは使わないだろうね。

～～～



感謝道

◇◆4日(木)、5日(金)の2日間に分けて3年生テーブルマナーを鹿児島市のマナーハウス島津重富荘にて実施した。このマナーハウス島津重富荘、「島津」という文字からも何となく推測できるのだが、実は160年前に建てられた島津久光公の別邸である。実際に住まいとしていたのは久光公の三男：珍彦(うずひこ)。その後、珍彦の孫である忠彦が旅館業を始めたのがマナーハウス島津重富荘の原点。1967年映画『007は二度死ぬ』のロケ地でもあり、ボンド役のショーン・コネリーの写真も保管されている。(マナーハウス島津重富荘 Staff Weblog2015.4.3より抜粋転載)

3年生諸君も施設見学の折、格式高い施設であることはわかったであろう。玄関に入って右側のエリアは160年前のままであり、欄間も「梅にウグイス」の透かし彫り、素晴らしいものであった。

◆さて、本題のテーブルマナーであるが、シェフの料理教室に始まり、マナー講座を受けながらフランス料理をいただいた。いつもは5～10分で掻き込むような早食いをしているのに、1時間もかけながらゆっくりと食事を楽しむと、少量であっても満腹感があるもの。ダイエットのためにはゆっくり食べる方が良かった(何回目?)。マナーの心得は自分自身が恥をかかないためばかりか、一緒にいる人や、場を用意してくれた人などに恥をかかせることのないようにするという意味も含まれる。ゆえに、感謝の心無くしてマナーはあり得ないのである。

◆6日(土)の全体朝礼において「当事者意識」の話をした。全ての事が「他人事」の人は、「自分の仕事じゃないし…」とか「誰かがするだろう…」で済ませる。こういう人は成長しない。逆に、気付いたことを躊躇無く取り組める人は、すべてを「自分事」として捉えているので、経験も多く積み、人間力もどんどん向上する。「当事者意識」を念頭に置き、尽力していこう。